

おうちにいくよ



令和7年度 第2回 介護・医療連携推進会議

- 日時:令和8年2月27日(金) 13:30~14:30
- 会場:株式会社 エール フリースペース
- 主催:株式会社エール

24時間訪問介護看護 ケアステップ エール

(岡山市指定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)

yell!

A black paw print icon located at the bottom right of the page, next to the word 'yell!'.

議事

開会挨拶

自己評価・外部評価

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

利用の現状について

症例発表

課題について

質疑応答／意見交換

次回日程のご案内(令和8年度 第2回)

(案)令和8年8月21日(金)13:30~14:30



地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していきます。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。**

地域包括ケアシステムの姿



出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

yell!

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス概要

正式名称は、

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



創設の経緯

訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を**24時間支える仕組み**が不足していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携**が不足しているとの問題がある。

このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護を創設。
(2012年4月)

※2018年1月時点での請求事業者数:853事業所



「**住み慣れた家で最期まで**」を叶えるサービス。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの利用条件

1 要介護認定者であること

重度化の防止・ADLの向上を基本理念とした、要介護者に向けたサービスです。

2 住所地が岡山市であること

地域密着型サービスであるため、岡山市に住民票がある方のみが対象となります。岡山市に在住で、住民票が他の市区町村にある場合、**住所地特例の適用**が認められれば、例外的に利用することもできます。

3 訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護との併用不可

サービス内容が重複するため、定期巡回サービスと併用することはできません。ただし、**通院等乗降介助のみ、併用可能**です。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容



定期巡回サービス

訪問介護員が計画書に基づいて1日複数回・短時間の介護サービスを巡回して行うもの。



随時対応サービス

利用者やその家族等から24時間365日緊急時等に連絡を受け、訪問の可否を判断するもの。



随時訪問サービス

随時対応サービスの訪問の可否の判断に基づき、利用者宅を訪問して介護サービスを行うもの。



訪問看護サービス

医師の指示に基づき、看護師等が利用者宅を訪問して看護サービスを行うもの。

適切なアセスメントとマネジメントに基づいて、介護サービスと看護サービスが連携を図りつつ、「短時間の定期訪問」、「随時の対応」といった手段を適宜・適切に組み合わせて、1日複数回、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するものであり、4つのサービスが提供されます。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの特徴

1 ケアプランの協同作成

定期巡回事業所の**計画作成責任者**が、ケアマネジャー、看護師と共にケアプランを作成します。制度上、「いつ、何回行って、何を**するか**」(≒ケアプラン3表)の**裁量権は、定期巡回事業所に持たされています。**



サービス量の適正化を目的とした制度設計

2 2時間ルール・20分ルール適用外

従来のサービスでは不可能とされていた、**2時間以内の再訪問**や、**20分未満のサービス提供**が可能です。



相互関係


3 包括報酬


要介護度に応じた月あたりの定額制です。
※日割りでの利用も可能。



アセスメントの徹底

 ケアマネジャーの視点
(総合アセスメント)

 看護師の視点
(医療アセスメント)

 定期巡回の視点
(頻回なアセスメント)



計画書(第一版)を作成



利用者を様々な視点から立体的に捉えたうえで、定期巡回サービスによる**24時間365日の介入**で、**断続的なアセスメントとモニタリング**を実施。

日々**変動する利用者のニーズ**に応じ、**迅速で柔軟な対応**を取ることで、ADLの向上や、重度化の防止を図る。

ポジティブアセスメント

yell!



安心して暮らし続ける日常を そっと支えるサービス

24時間365日、必要なときに必要なケアを届ける在宅支援

「定期訪問」+「随時対応」+「随時訪問」の3本柱

介護と看護が一体で動くため、状況変化に強い

独居・老老介護・夜間不安のある方の生活を支える仕組み

24時間対応で「困った時に呼べる」安心感
医療的な変化にも早期対応
介護負担の軽減
月額報酬で利用しやすい
施設に入らなくても暮らせる

yell! 

ケアステップエールの定期巡回の特徴

介護保険ではできないこと



ちよこっと

お手伝い



月額3,000円（税抜）で
日常の「できたらいいな」をお手伝い



火を使う調理
みそ汁等



家族共有
場所の掃除

ペットの世話
エサやり等



介護保険ではできないこと、ちよこっとエールならできます。

yell! 

利用の現状について(R8,1月現在)※御南中学校区での利用 3名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数/月	世帯	看護利用	主な支援内容
1-M・Y様	87歳	5	北区今	58回	独居	あり	排泄、配膳 生活全般・安否確認
2-Y・M様	85歳	4	北区今	101回	息子	あり	排泄・経管栄養・内服
3-N・S様	76歳	4	北区今	128回	独居	医療	排泄対応、食事、内服 安否確認
4-M・O様	79歳	2	北区花尻	70回	独居	あり	内服・安否確認・買い物
5-K・M様	89歳	5	北区下伊福	62回	妻・娘	あり	排泄、保清、水分摂取
6-K・T様	96歳	2	北区伊島町	10回	独居	あり	服薬、安否確認
7-Y・K様	75歳	4	北区清輝橋	80回	独居+猫	医療	生活全般

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
8-K・M様	75歳	1	北区 東古松	30回 (電話対応含む)	独居	あり	体調確認
9-A・D様	86歳	5	北区西崎	59回	夫・娘 息子	あり	尿破棄・保清・口腔ケア
10-S・F様	79歳	5	北区 東中央町	93回	夫婦	医療 (他訪看)	便破棄、口腔ケア 内服・安否確認
11-M・F様	95歳	4	北区平野	19回	娘家族	あり	体調確認、配膳、 Pトイレ掃除
12-S・F様	93歳	5	北区 鹿田本町	63回	独居	医療	排泄対応、吸引、 口腔ケア、更衣
13-T・A様	86歳	3	北区佐山	26回	夫婦	あり	便破棄、安否確認
14-Y・K様	88歳	5	北区尾上	88回	夫婦	医療	排泄対応、口腔ケア 栄養注入 内服。安否確認

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
15-M・K様	91歳	4	北区 奉還町	14回	姉妹	あり	排泄、保清、内服 安否確認
16-K・T様	91歳	5	北区 高柳西町	41回	夫婦 娘	医療	排泄・保清 体調確認
17-M・W様	79歳	5	中区 門田本町	129回	夫婦	あり	排泄、保清 栄養注入
18-Y・M様	84歳	4	中区山崎	99回	息子 家族	あり	排泄、配膳、保清、 生活全般
19-M・A様	69歳	3	中区 西中島町	22回	独居	医療	体調確認、 トイレ掃除、
20-K・N様	80歳	5	中区倉益	63回	夫婦	あり	安否確認、保清、内服、食 事介助
21-N・W様	77歳	4	中区倉益	66回	夫婦	あり	排泄・内服確認 保清・体調確認

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
22-K・K様	81歳	3	南区大福	53回	息子 家族	あり	内服、安否確認
23-M・K様	77歳	5	南区泉田	116回	独居	なし	排泄、配膳、生活全般
24-S・K様	80歳	5	南区高屋	88回	夫 息子	医療	排泄、食事介助、保清 内服、体調確認
25-K・I様	92歳	2	南区平井	58回	独居	あり	体調確認 入浴見守り
26-T・O様	89歳	1	南区妹尾	33回 (電話対応 含む)	独居	あり	内服、安否確認
27-T・U様	81歳	4	南区新保	34回	夫婦	医療	保清、尿破棄 体調確認
28-S・D様	55歳	4	南区洲崎	46回	独居	医療 (他訪看)	入浴見守り、安否確認

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	世帯	看護利用	主な支援内容
29-Y・K様	88歳	5	南区新保	88回	夫婦	医療	排泄対応、口腔ケア 栄養注入 内服。安否確認
30-R・H様	65歳	更新中	南区福富中	40回	夫婦	医療	排泄・食事準備 保清・体調確認

利用の現状について(R8, 1月現在)※御南中学校校区での利用 3名

- ◆お客様登録数 30名(入院中3名)
- ◆平均介護度 3.9
- ◆月定期訪問総回数 1,801回
- ◆平均定期訪問回数 64.32回
- ◆新規依頼 2名
- ◆終了者 4名



症例発表

認知症

80歳代 女性 独居 介護度 1

独居で結婚歴はなく、仕事一筋でキャリアを積み重ね部長職まで務めた。65歳の定年まで働き続け、55歳の時に建てた一軒家に今も暮らしている。70歳頃に脳梗塞で入院したが、早期発見により手術などは行わず約20日の入院で治療を終え退院。退院後は予防の内服を続けながら経過観察を行っている。定年後は、週3日回タクシーでスポーツジムに通い、健康維持に努めている。食事は近所のお店の日替わりを楽しむ生活が習慣になっている。80代後半から物忘れや妄想様言動が目立つようになり、主治医の紹介で認知症検査を受け、介護保険の申請も行った。独居で内服が確実ではないことから、主治医より服薬管理ができるサービスの利用を勧められ、定期巡回サービスの利用開始となった。

yell. 

症例発表

パーキンソン病 90歳代 女性 娘夫婦と同居 介護度5

47歳でパーキンソン病と診断され、16年前に服薬管理のため入院し、そのまま寝たきりの状態となった。長い入院生活が続いたが、娘様が“母親と過ごす時間を大切にしたい”と休職を決意し、自宅と一緒に暮らし始めた。自宅での生活が続く中で状態は安定し、娘様も仕事復帰を考えるようになったため、そのタイミングで定期巡回サービスと訪問看護の支援が入ることになった。


日中は独居となり、自分で緊急連絡ができないため、娘様が安心して働けるよう、9時(パッド交換、口腔ケア等のモーニングケア)、10時半(安否確認)、12時半(看護訪問にて栄養注入)、14時(パッド交換)の訪問を行い日中の見守りとケアを支えている。



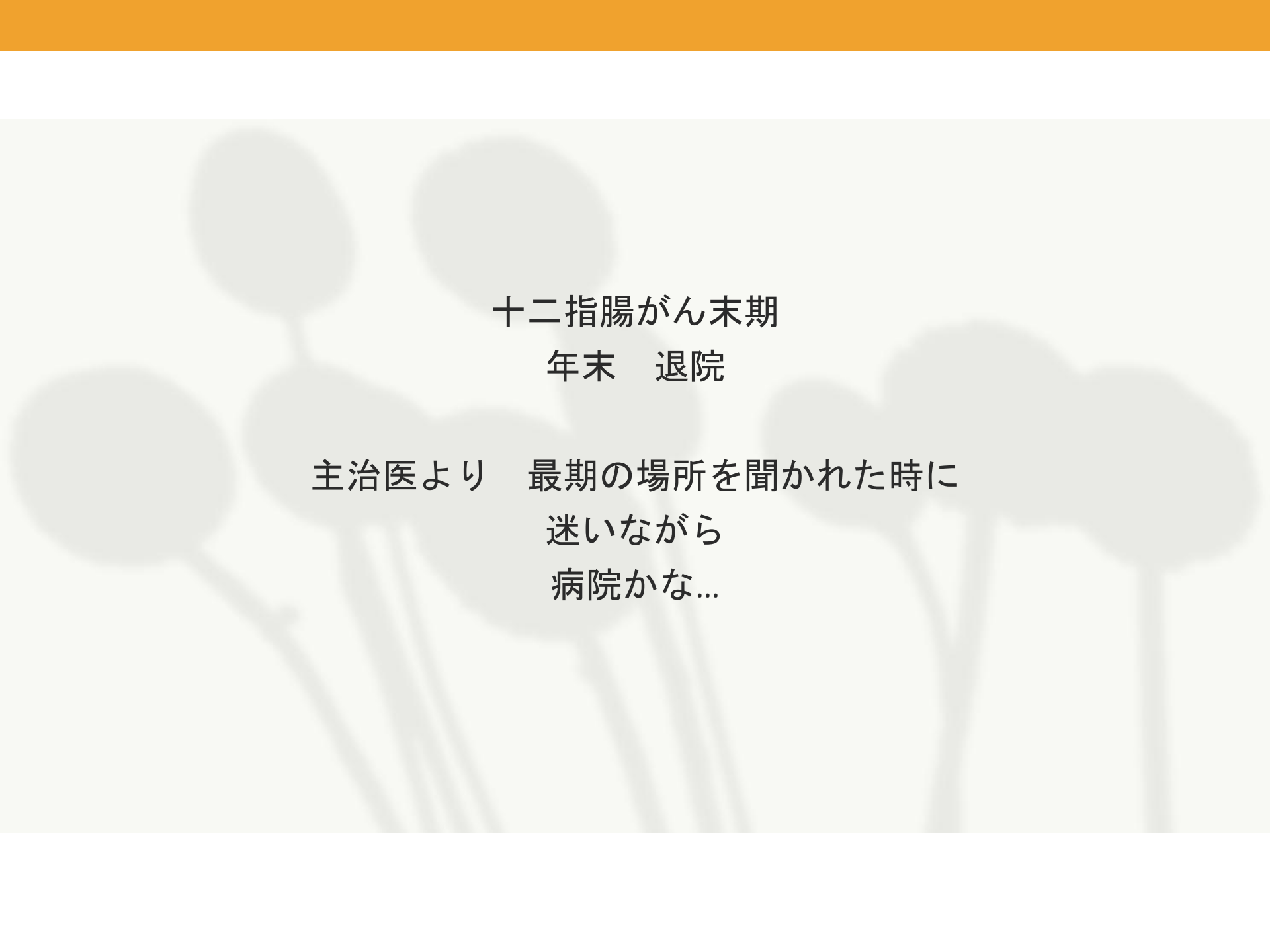
家で最期を迎えたい

病院かな . . .
その言葉の奥にある願い
を支えるサービス

夫には
迷惑をかけたくない



年齢60代・女性
夫と二人暮らし
十二指腸がん末期

The background features a faint, light-colored illustration of several flowers with round heads and thin stems, scattered across the page. The overall color palette is soft and muted, with a light beige background and a thin orange border at the top.

十二指腸がん末期
年末 退院

主治医より 最期の場所を聞かれた時に
迷いながら
病院かな...



今決めなくてもいいから

夫には仕事に行ってほしい

平日の日中はひとり。

不安はある。

それでも、夫に負担をかけたくない気持ちが強かった

定期巡回と訪問看護が支えた日々

最初は 朝・昼・夕の定期巡回と、11時の訪問看護で支えていました。

状態が悪化してくると、訪問看護の回数を増やし、
その間を定期巡回がこまめに訪問することで
“ひとりの時間”が少なくなるように調整しました。

お正月は自宅で過ごせました

離れて暮らす息子夫婦と孫も帰省し
みんなでお雑煮も食べれました。
家だからこそ叶った時間になりました。

痛みが強くなり、緊急コールが増えた1月

年が明けて数日経った頃、インフォームドコンセント

夫は「自分に介護ができるのか」

「仕事もあるし、家で看るのは無理じゃないか」と不安でした。
エールがいるから“ひとりにしない仕組みづくり”を整えてくれる
とわかり、夫は“自宅で看取る”決心がつけました。

でも、これが最後の決断ではありません。その都度話をします。

少しずつ最後の時が近づいてきました

その翌日、本人希望で訪問入浴。

当日までどうなるかわからない状態でしたが
温かいお湯に包まれ、穏やかな表情でした。

「気持ちよかった」「しんどかった」「スッキリした
」と。やっておきたいことはない。と話されました。

お別れするとき

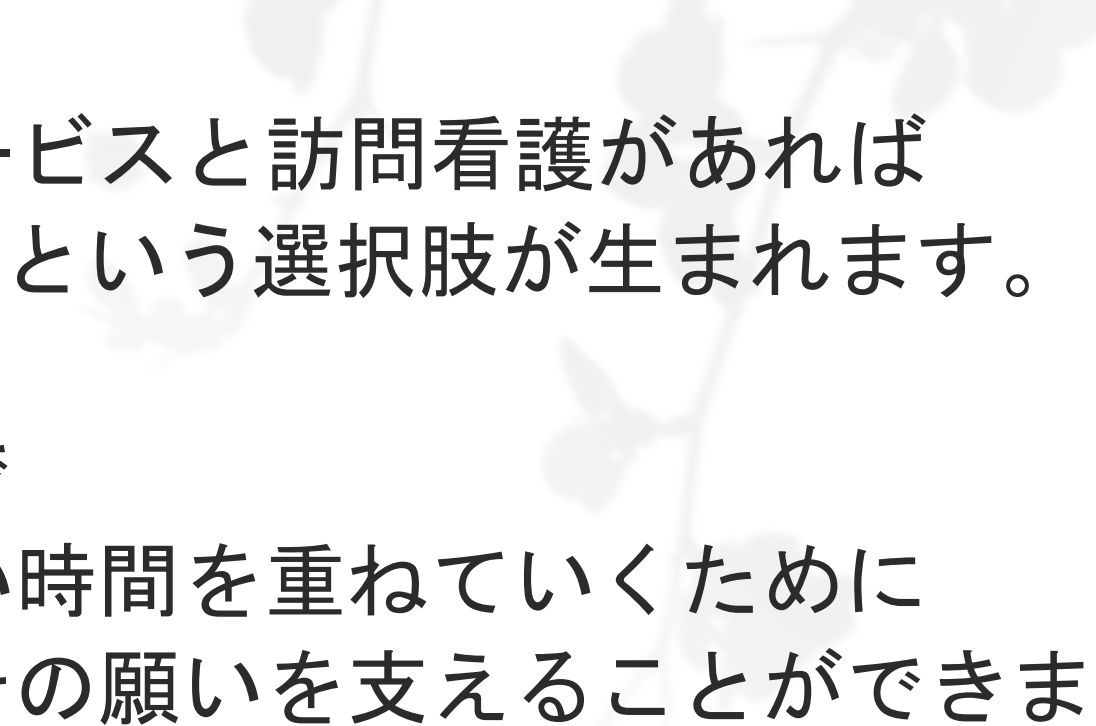
10時過ぎまで夫がそばにいて手を握っていました。
夫が少し休もうと席を外したそのわずかな時間に
彼女は静かに息を引き取りました。

最期の瞬間まで、
夫には迷惑をかけまいと気遣い続けた方でした。

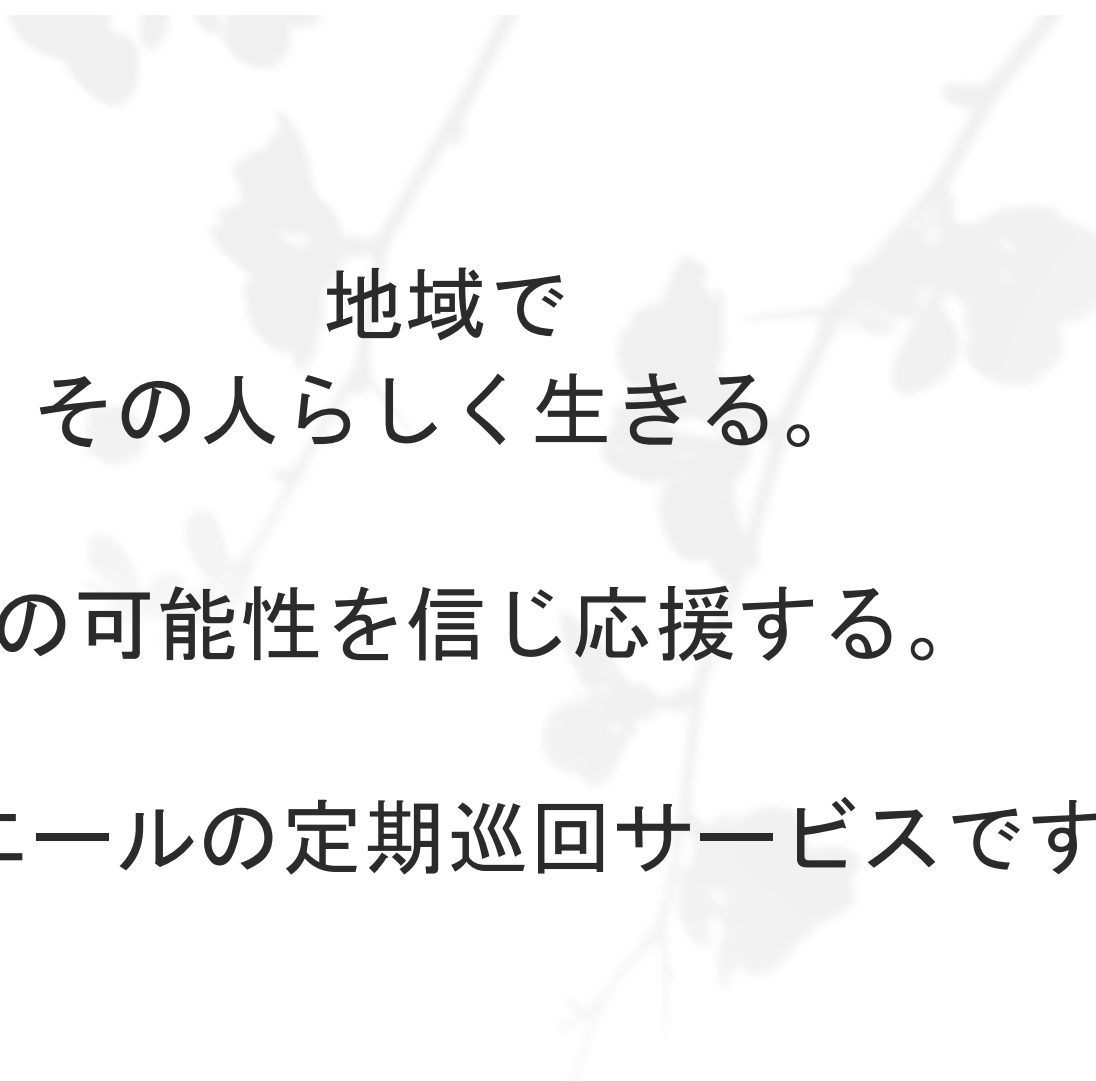


病気になったら、最後は病院

そう思っている方は少なくありません。



でも、
定期巡回サービスと訪問看護があれば
“家で過ごす”という選択肢が生まれます。
大切な人と
大切な場所で
その人らしい時間を重ねていくために
私たちは、その願いを支えることができます。



地域で
その人らしく生きる。

人の可能性を信じ応援する。

これがエールの定期巡回サービスです。

課題について

◆人員確保

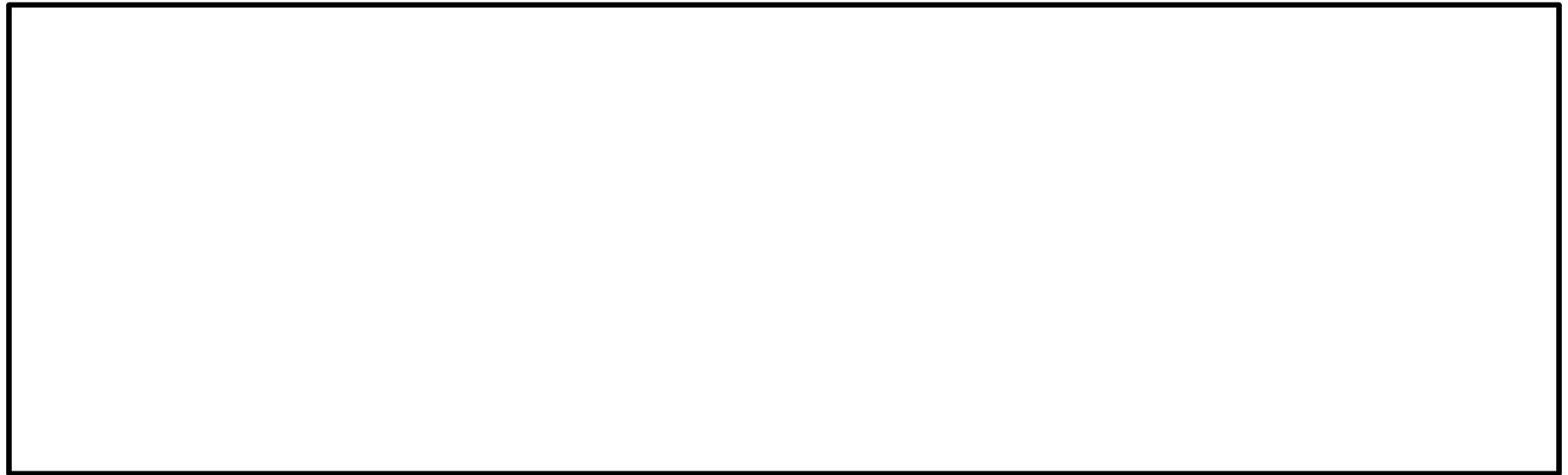
◆利用希望者がいても、エリアが離れており緊急に対応できない為、断らなければいけないことがある。

◆医療・介護の連携

yell!



質疑応答/意見交換会



次回日程のご案内

令和8年8月21日(金) 13:30～14:30

本日は、皆様ご多用にも関わらずお越しくださり心より感謝申し上げます。

yell!

